2018年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL51218B44）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガーナ	D230 電気・電子機器		個別	交替 2代目	2年	・2019/1 ・2019/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

教育省

2）配属機関名（日本語）

タマレ技術大学

3）任地（ ノーザン州タマレ市 ） JICA事務所の所在地（ アクラ ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ ﾊﾞｽで 約 12.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

2016/2017年度より技術短期大学から技術大学へ変更となった4年制の高等技術教育機関であり、技術コースの他に、ビジネスコース、応用科学コースが併設されている。年間約1,000時間の授業が行なわれており、生徒数は約5,500人、教員総数は約200名である。電気・電子科の卒業生の多くが公務員(電気職)や電気会社等に就職している。
2018年度の予算規模は約25億円。技術コースの電気・電子科、自動車科、農業機械科にそれぞれ青年海外協力隊(JV)を派遣した実績があり、現在も電気・電子科でJV(電気・電子設備)が活動している(2019年3月まで)。

【要請概要】

1）要請理由・背景

配属先は、ガーナでも有数の高等技術教育機関であるが、教員の指導レベルの低さや人材不足の深刻化から、用語の暗記に重点の置かれた授業を主流とし、実習も十分に実施されていない状況が続いている。(座学5割:実習5割)。現在活動中のJV(電気・電子設備)により、座学中心の授業から実習に重点を置いた内容に切り替えており、年間授業の7割程度を実習に移行していくことを配属先と計画している。また、電気・電子科であるが計算が苦手な生徒も多いため、算数指導にも力を入れている。それらの授業で使用する教材作成や、同僚への技術支援などを配属先から強く求められており、継続した支援が必要と判断し今回の要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1.生徒に対し、電気・電子に関する基礎的な理論や実習(基礎数学、電気･電子回路など)の授業を実施する。
2.座学や実習で使用する新しい教材を作成する。
3.実習設備や工具の正しい使い方や整理整頓(5S手法)等を指導する。

※担当する学年や授業数は、赴任後に配属先と相談して決定する。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

直流安定化電源(GW INSTEK型式 GPS-1830D)、オシロスコープ(GW INSTEK型式 GOS-620)、電子回路学習キット(テレビ)20個、マルチメーター、ブレッドボード、工具一式

4）配属先同僚及び活動対象者

学科長(男性、40代、院卒/電気)
講師5名(男性、30-40代、院卒、大卒/電気)

活動対象者:高校卒業者(各学年約200名が在籍。また、1クラス 30名程度となる)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（大卒）電気･電子　備考：体系的な知識と経験が必要

[経験]：（実務経験）3年以上　備考：実習指導を担当するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候）　気温：（25～35℃位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（不安定）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.